

令和7年度
リエゾン-I
オンラインマッチングフェア
～新技術説明会～

**いわて産学官連携推進協議会（リエゾン-I）参加研究機関の
研究者が最新の研究シーズ12件発表**

県内企業での活用が期待されるもののまだ県内企業等との共同研究や県内企業等への技術移転に至っていない研究シーズや、県内企業に技術転換済みであるが他分野への展開が期待される研究シーズを中心に

Zoom配信による発表後に個別相談（発表者と参加企業とのマッチングの機会）を設けます

オンライン
開催

2025.11.12 水

13:00～16:35

・参加費：無 料 ・申込方法：右のQRコード（開催案内

HP）からお申込みください

・定 員：100 名 ・申込締切：11/7（金）17:00



開催案内

主催者 いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）

県内研究機関のシーズと企業のニーズ
をマッチングさせることにより新事業
創出を図ることを目指しています



【構成機関】

○研究機関会員：岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、一関工業高等専門学校、農研機構東北農業研究センター、
岩手県工業技術センター、岩手生物工学研究センター、岩手県農業研究センター、岩手県林業技術
センター、岩手県水産技術センター（10機関）

○金融機関会員：岩手銀行、日本政府投資銀行、北日本銀行（3機関）

共催 岩手県、（公財）いわて産業振興センター、岩手ネットワークシステム（INS）、岩手農林研究協議会（AFR）、いわて未来づくり機構
後援 岩手県中小企業家同友会、盛岡工業クラブ、東北地域農林水産・食品ハイクテク研究会、INS いわてコーディネート研究会、
（公財）さんりく基金

お問い合わせ先 いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）事務局
岩手大学研究支援・産学連携センター 担当：今井、川口
〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-33
TEL：019-621-6293 FAX：019-621-6995 E-mail：ccrd-ad@iwate-u.ac.jp

目 次

1. リエゾン-I オンラインマッチングフェア～新技術説明会～プログラム	・・・	1
2. リエゾン-I 紹介	・・・	2
3. 発表概要	・・・	6
4. 参考資料		
(1) 「リエゾン-I 研究開発成果事業化育成資金」贈呈企業一覧 (第1回～第22回)	・・・	10
(2) リエゾン-I マッチングフェア開催実績 (第1回～第16回)	・・・	17

1. リエゾン-I オンラインマッチングフェア～新技術説明会～プログラム

(1) 主催者挨拶

13:00～13:05 リエゾン-I 共同代表 岩手銀行 取締役常務執行役員 岸 真英 氏

(2) リエゾン-I の紹介

13:05～13:15 岩手大学理事（研究・地域連携担当）・副学長 水野 雅裕 氏

(3) 研究シーズの発表

【農林水産業分野】	
1. 13:15～13:30	水稻無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培「かん湛！」 農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域水田輪作グループ グループ長 国立 卓生 氏
2. 13:30～13:45	市場ニーズに応える・東北発の小麦品種～パン用小麦「夏黄金」と日本めん用小麦「ナンブキラリ」～ 農研機構東北農業研究センター 畑作園芸研究領域畑作園芸品種グループ 上級研究員 池永 幸子 氏
3. 13:45～14:00	発酵食品の価値を高める高機能酵母の開発 岩手大学 農学部 教授 西村 明 氏
4. 14:00～14:15	野生酵母を使用したビール醸造技術の開発 (地独) 岩手県工業技術センター 醸造技術部 主査専門研究員 玉川 英幸 氏
5. 14:15～14:30	低密度木材のスポンジ化技術 岩手大学 農学部 准教授 阪上 宏樹 氏
6. 14:30～14:45	岩手県産木質チップを使用した酒類におけるフレーバー成分の分析 (地独) 岩手県工業技術センター 食品技術部 専門研究員 菊池 祥 氏
7. 14:45～15:00	3D治具を活用した木材 CNC 加工技術の開発 (地独) 岩手県工業技術センター 産業デザイン部 主査専門研究員 内藤 廉二 氏
【15:00～15:15 休憩 15 分】	
【健康長寿分野】	
8. 15:15～15:30	新規作用機序による動物歯周病菌に対する抗菌薬開発 岩手医科大学 薬学部 教授 阪本 泰光 氏
9. 15:30～15:45	食用きのこ“アラゲキクラゲ”に含まれる赤紫色素 (公財) 岩手生物工学研究センター 生物資源研究部 研究部長 矢野 明 氏
【次世代自動車分野】	
10. 15:45～16:00	着霜現象を低減させる伝熱面表面形状の開発 一関工業高等専門学校 未来創造工学科 機械・知能系 准教授 井上 翔 氏
11. 16:00～16:15	トポロジー最適化及びジェネレーティブデザインを用いた軽量化へのアプローチ (地独) 岩手県工業技術センター 素材材プロセス技術部 主査専門研究員 黒須 信吾 氏
【DX分野】	
12. 16:15～16:30	中小スキー場魅力化向けの新型 IC カードリフト券システム 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 教授 蔡 大維 氏

(4) 閉会

16:30～16:35 リエゾン-I 事務局

岩手大学研究支援・産学連携センター 副センター長 今井 潤 氏

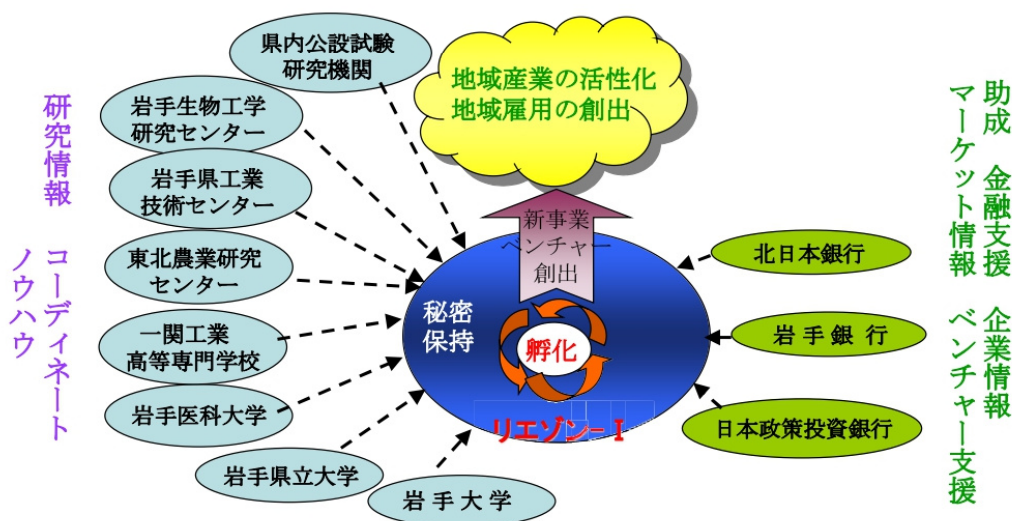
いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）の設立経緯

- 大学のシーズと金融機関の企業データとの連動による新たなビジネスの創出を図ることで岩手大学と岩手銀行が一致
大学: 企業情報による最適企業とのマッチングと事業化支援による知的財産の活用
銀行: 研究成果活用による顧客企業の新たなビジネスチャンスの創出
- ベンチャー創出のため、ベンチャー支援に強い日本政策投資銀行の参加を要請
- 平成16年5月、「いわて産学連携推進協議会(リエゾン-I)」を設立(3者が合意書締結)
- 平成16年11月、銀行から共同研究企業への助成金の提供による事業化のための支援として「リエゾン-I研究開発事業化育成資金」を創設
- 平成18年7月、地域全体のネットワークとして取り組むため、オール岩手の研究機関と金融機関の取組へと拡大(平成19年8月関係機関が合意書締結)

1

リエゾン-Iの組織拡大

平成18年7月、地域全体のネットワークとして取り組むため、オール岩手の研究機関と金融機関の取組へと拡大



県内公設試: 岩手県農業研究センター、岩手県林業技術センター、岩手県水産技術センター

2

リエゾン-Iの活動

- リエゾン-I参加研究機関の研究シーズの提供
リエゾン-Iホームページを活用。⇒HPQRコード
<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/liaison/liaisoni/>



- マatchingフェアの開催
平成18年から開催し、今回で17回目の開催。
- 研究開発事業化育成資金の贈呈
平成17年から開始し、23回目の贈呈先を選定中。
- 日常的な技術相談

岩手大学研究支援・産学連携センター 担当 今井、川口
019-621-6491、6293 chiren@iwate-u.ac.jp

岩手銀行地域貢献部 担当 舟山
019-623-1111 ibk-cs@iwatebank.co.jp

3

第17回リエゾン-Iマatchingフェア～新技術説明会～

リエゾン-I会員研究機関のシーズと県内企業等のニーズとのマatchingを目的に平成18年から開催

⇒これまでの開催実績17頁参照

○日時及び会場

令和7年11月12日(水)13:00～16:35

オンライン開催

○発表シーズ

県内企業での活用が期待されるもののまだ県内企業等との共同研究や県内企業等への技術移転に至っていない研究シーズの他、県内企業に技術移転済みであるが他の分野への展開が期待される研究シーズを中心に12課題(15分/件)を発表

○マatchingについて

当日の個別相談については事前申込制としましたが、発表概要に問合せ先を掲載しておりますので、発表後に、個別に連絡いただくことも可能です。

4

金融機関からの育成資金の提供

名 称

「リエゾン-I研究開発事業化育成資金」

創 設 日 平成16年11月1日

創 設 目 的

i 県内企業の技術開発・商品開発のニーズと大学が有する高度な技術研究シーズを共同研究等を通じマッチングさせることにより、中小企業の「高付加価値」を通じて「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援

ii この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を県内企業が事業化に向けて研究開発に積極的に取り組むことを期待

贈 呈 実 績

これまで22回、延べ129社・152件に対し総額208百万円を贈呈

贈呈金額上限

総額15百万円、1社上限2百万円

研究開発事業化育成資金のイメージ図



5

研究開発事業化育成資金の贈呈先数と金額の実績

年度	回	贈呈日	先数	総額	内訳
17年度	第1回	H17.6.30	4社	6.0百万円	2M1社、1.5M2社、1M1社
	第2回	H17.12.26	4社	6.5百万円	2M2社、1.5M1社、1M1社
18年度	第3回	H18.7.14	4社	6.0百万円	1.5M2社、1M2社
	第4回	H19.2.26	5社	7.5百万円	1.5M5社
19年度	第5回	H19.10.30	4社	5.0百万円	1.5M2社、1M2社
20年度	第6回	H21.2.19	7社	11.5百万円	2M2社、1.5M5社
21年度	第7回	H22.2.24	8社	6.0百万円	1M4社、0.5M4社
22年度	第8回	H23.2.21	8社	6.0百万円	2M2社、1.5M2社、1M4社
23年度	第9回	H24.2.23	6社	10.5百万円	2M3社、1.5M3社
24年度	第10回	H25.2.18	9社	12.0百万円	1.5M6社、1M3社
25年度	第11回	H26.2.28	11社	13.0百万円	1.5M4社、1M7社
26年度	第12回	H27.2.23	6社	9百万円	1.5M6社
27年度	第13回	H28.2.24	10社	12.5百万円	2M1社、1.5M3社、1M6社
28年度	第14回	H29.2.24	7社	10.5百万円	2M3社、1.5M1社、1M3社
29年度	第15回	H30.2.27	6社	8.5百万円	2M2社、1.5M1社、1M3社
30年度	第16回	H31.2.27	10社	13.5百万円	2M1社、1.5M5社、1M4社
令和元年度	第17回	R02.2.26	7社	10百万円	2M1社、1.5M4社、1M2社
令和2年度	第18回	R02.2.22	8社	11.5百万円	2M1社、1.5M5社、1M2社
令和3年度	第19回	R03.12.1	7社	10百万円	2M2社、1.5M2社、1M3社
令和4年度	第20回	R05.2.27	8社	10百万円	2M1社、1.5M2社、1M5社
令和5年度	第21回	R06.2.28	7社	10.5百万円	2M2社、1.5M3社、1M2社
令和6年度	第22回	R07.2.26	6社	8百万円	2M2社、1M4社
合計			152件	208百万円	

⇒これまで贈呈先企業一覧10頁参照 6

研究開発事業化育成資金贈呈先一覧 (第21回、第22回)

(単位:千円)

回・時期・社数・贈呈額	贈呈先	贈呈金額	事業計画名	共同研究機関
第21回 R6.2.28 7社 1,050万円	株KOEDA	2,000	安全・簡易な胆嚢炎ドレーナージキット「KOEDA」の開発	岩手大
	株平六醸造	2,000	もち発芽玄米の製麹方法および吟醸清酒製造方法をベースとしたクラフトサケ（その他の醸造酒）の開発	岩手工技
	やまに農産株	1,500	西和賀産高粘度わらび粉の生産技術の完成と販路開拓	岩手工技、県大盛岡短大部
	磐井AI株	1,500	認知症予防・早期発見ツール D-walk	一関高専
	株長根商店	1,500	北リアス産モリーユの生産・供給安定化事業	岩手林技、岩手工技
	株アイオー精密	1,000	高速熱処理プロセス技術開発によるインライン化生産体制の確立	岩手大
	マーマフーズ株	1,000	植物性肉様食品のエクストルーダーに用いるノズルの研究	岩手大
第22回 R7.2.26 6社 800万円	株ベアレン醸造所	2,000	県産麦芽 100%「つなぐビール」の大幅拡大に向けた大麦品種の普及及び品質向上	東北農研
	ONSSI株	2,000	脾臓癌を標的とした新しいがん治療薬（抗体薬物複合体）の開発	岩手医大
	株九戸村総合公社	1,000	新規機能性代用甘味料「甘茶エキス」と「くのへ甘茶のど飴」の開発商品化	岩手生工研
	有バイオケム	1,000	サケ・ニシン白子抽出物及び酵母由来核酸の免疫活性評価による新規商材の開発	一関高専
	Next IWATE	1,000	『地域の未来を築く陸上養殖』持続可能で地域振興を支える閉鎖循環式陸上養殖の事業化	一関高専
	株Chaos Edge	1,000	プロイラー活性レベル測定システム	岩手大

7

研究開発事業化育成資金贈呈までの流れ (令和6年度の例)

7月～8月

贈呈候補先募集

【基準】
 ✓研究機関との共同研究により「事業の多角化」や「新たなビジネスの創出」につながる。
 ✓育成資金を提供することにより、事業化に向けた取組みを促すことができる。

申請の受付

【申請書類】
 ✓育成資金申請書
 ✓新事業の概要
 ✓事業計画書
 ✓取得特許等
 ✓財務諸表
 ✓会社案内
 ✓製品等パンフレット

10月

技術評価

【評価機関】
 ✓東北大学
 ✓産業総合研究所
【評価内容】
 ✓研究開発の重要性
 ✓新規性・優位性
 ✓実現の可能性
 ✓期待成果の妥当性

マーケティング評価

【評価基準】
 ✓東経連ビジネスセンター
【評価内容】
 ✓ターゲットとする市場の妥当性
 ✓マーケティング戦略面での仮設の妥当性
 ✓総体的なマーケティング戦略の妥当性

12月

ブラッシュアップ

【プレゼン練成会】
 ✓企業代表者と共同研究機関研究員が参加。
 ✓本番同様の発表を行い、支援機関コーディネーターや金融機関がアドバイスをを行う。

審査会

【審査委員】
 ✓県と共同設置する「いわて研究開発評価委員会」が審査。
【審査内容】
 ✓プレゼン(10分)。
 ✓質疑応答(10分)。
 ✓技術評価を加味した総合評価を実施。

贈呈企業決定

【金融機関協議】
 ✓総合評価に基づき、贈呈先の選定を行う。
 ✓各金融機関の機関決定後、正式に贈呈先が決定となる。
【資金拠出準備】
 ✓金融機関負担割合で資金を拠出。

2月

贈呈式

【贈呈式開催】
 ✓参画機関のうち岩手銀行は頭取、岩手大学は学長が出席して開催。
【対外公表】
 ✓地元新聞社、経済誌の取材を受け、企業の取組みを広くPRする。

8

3. 発表概要

【農林水産業分野】

発表NO1	
項 目	内 容
発表テーマ	水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培「かん湛！」
所属機関	農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域水田輪作グループ
職・氏名	グループ長 国立 卓生
①新技術の概要	水稲の湛水直播栽培に必須であった種子コーティングが不要で、代かきと同時に播種ができる、省力・低コストを実現した栽培技術を開発しました。耐倒伏性の強い多収品種と組み合わせることで、ブランド米の移植栽培よりも多収となり、収益向上が見込めます。
②想定業種	農業者、食品製造業
③想定用途	水稲栽培、米穀販売
※参考 HP	https://www.youtube.com/playlist?list=PLW99yTRNzVkPRxGhmmxdT4_eCFbGD5cZR
④問合せ先	農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室 産学連携コーディネーター 船附 稚子 電話：019-643-3481 E-mail：jigyoka@ml.affrc.go.jp

発表NO2	
項 目	内 容
発表テーマ	市場ニーズに応える・東北発の小麦品種 ～パン用小麦「夏黄金」と日本めん用小麦「ナンブキラリ」～
所属機関	農研機構東北農業研究センター 畑作園芸研究領域畑作園芸品種グループ
職・氏名	上級研究員 池永 幸子
①新技術の概要	東北研では、2017年に「夏黄金」2018年に「ナンブキラリ」を育成した。「夏黄金」は、外国産小麦に似た性質をもち食パンをはじめとしたさまざまなパンに単独で利用が可能です。「ナンブキラリ」は、食感に優れ、めん色は明るい黄色みを帯びています。どちらの品種も、他の特産品との組みあわせなどで新たに魅力的な加工品を作ることが可能です。
②想定業種	食品メーカー
③想定用途	パン、ピザ等強力粉を使用した商品（夏黄金） うどん、菓子等中力粉を使用した商品（ナンブキラリ）
④問合せ先	農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室 産学連携コーディネーター 船附 稚子 電話：019-643-3481 E-mail：jigyoka@ml.affrc.go.jp

発表NO3	
項 目	内 容
発表テーマ	発酵食品の価値を高める高機能酵母の開発
所属機関	岩手大学 農学部
職・氏名	教授 西村 明
①新技術の概要	私たちは、非遺伝子組換え技術を活用して、発酵食品に用いられる酵母を高機能化する研究を進めています。この方法によって、香りや味を豊かにしたり、健康に役立つ成分を増やしたりすることができます。本発表では、その具体的な事例をご紹介します。
②想定業種	酒類メーカー、食品メーカー
③想定用途	香りや味を強化した発酵飲料・発酵食品の開発
④問合せ先	岩手大学研究支援・産学連携センター 副センター長・教授 今井 潤 電話：019-621-6491 E-mail：ccrd-ad@iwate-u.ac.jp

発表NO4	
項 目	内 容
発表テーマ	野生酵母を使用したビール醸造技術の開発
所属機関	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 醸造技術部
職・氏名	主査専門研究員 玉川 英幸
①新技術の概要	クラフトビールは現在大きなブームとなっているが、その差別化に地域の資源が用いられることが少なくない。本研究では、地域に根付く「野生酵母」を用いたビール製造を試みた。自然環境中から野生酵母を探索し、麦汁で十分発酵できる菌株の育種、製造に必要な種菌供給のための培養方法を確立し、商品化を行った。
②想定業種	ビール・発泡酒を製造するブルワリー
③想定用途	高付加価値クラフトビール
※参考 HP	https://dotcrimson.com/
④問合せ先	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 連携推進室 主査専門研究員 阿部 貴志 電話：019-635-1115 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

発表NO5	
項 目	内 容
発表テーマ	低密度木材のスポンジ化技術
所属機関	岩手大学 農学部
職・氏名	准教授 阪上 宏樹
①新技術の概要	建築材や家具材等への利用が難しい低密度木材の利用促進のため、木材を柔らかくし、圧縮しても元の形状に戻るスポンジ状態の木材を開発しました。見た目は木材ですが、これまでに無い新たな性能を有した木質材料を皆さんに知って頂き、実用化されることを期待しています。
②想定業種	建築・家具、プラスチック、ゴム
③想定用途	建築内装材、クッション材、アパレル製品
※参考 HP	https://wakasapo.nedo.go.jp/seeds/seeds-1749/
④問合せ先	岩手大学研究支援・産学連携センター 副センター長・教授 今井 潤 電話：019-621-6491 E-mail：ccrd-ad@iwate-u.ac.jp

発表NO6	
項 目	内 容
発表テーマ	岩手県産木質チップを使用した酒類におけるフレーバー成分の分析
所属機関	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 食品技術部
職・氏名	専門研究員 菊池 祥
①新技術の概要	岩手県産木材を利用した国産初の浸漬用木質チップを開発した。一般的にワインなどの酒類への樽熟成に代わる風味付けには、オークチップの浸漬が行われている。県産チップは、海外産チップと同様に酒類へのフレーバー付与に利用でき、高品質化・高付加価値化への貢献が期待できる。
②想定業種	酒メーカー、食品メーカー、香料メーカー
③想定用途	酒類への浸漬、木質チップ抽出液、香料
※参考 HP	https://www.youtube.com/watch?v=QbbxMldXikk
④問合せ先	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 連携推進室 主査専門研究員 阿部 貴志 電話：019-635-1115 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

発表NO7	
項 目	内 容
発表テーマ	3D治具を活用した木材CNC加工技術の開発
所属機関	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 産業デザイン部
職・氏名	主査専門研究員 内藤 廉二
①新技術の概要	基準平面をもたない曲面で構成された形状のCNC加工を行うため、3Dプリンターを活用した3D治具を考案した。本研究では木製スプーンを事例とし、複雑な曲面形状の安定的な吸着固定方法を確立し、NC加工機による最終製品形状の製造を可能にした。
②想定業種	木製品製造業、漆工産業等
③想定用途	スプーン木地、漆器木地、木彫、家具、小木工品
※参考HP	https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/study/report/2024/PDF/R6-07.pdf https://www.youtube.com/watch?v=RTu-Zxvj4EM
④問合せ先	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 連携推進室 主査専門研究員 阿部 貴志 電話：019-635-1115 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

【健康長寿分野】

発表NO8	
項 目	内 容
発表テーマ	新規作用機序による動物歯周病菌に対する抗菌薬開発
所属機関	岩手医科大学 薬学部
職・氏名	教授 阪本 泰光
①新技術の概要	我々は、タンパク質やペプチドを栄養源とする病原菌に着目し、これまでに上市されている抗菌薬とは全く異なる作用機序による抗菌化合物を創出した。本化合物は、慢性歯周病起因菌、多剤耐性菌に対する抗菌効果を有し、これらの感染症に対する新たな治療手段を提供し、薬剤耐性対策に寄与することが期待される。
②想定業種	製薬
③想定用途	動物用抗菌薬、ヒト用抗菌薬、飼料添加物、医薬部外品
※参考HP	http://bit.ly/4nwLkXI
④問合せ先	岩手医科大学 研究助成課 吉野 明仁 電話：019-651-5110（内線 5528）E-mail：liaison@j.iwate-med.ac.jp 岩手医科大学 薬学部 阪本 泰光 電話：019-651-5110（内線 5284）E-mail：sakamoto@stbio.org

発表NO9	
項 目	内 容
発表テーマ	食用きのこ“アラゲキクラゲ”に含まれる赤紫色素
所属機関	公益財団法人岩手生物工学研究センター 生物資源研究部
職・氏名	研究部長 矢野 明
①新技術の概要	食用きのこから、赤紫色素を単離同定し、構造を明らかにした。常温・明所で120日以上褪色せず安定であった
②想定業種	食品加工業、化粧品製造業、衣料品製造業 など
③想定用途	食紅に代わる着色素材として利用したり、化粧品向け色素としての開発を進めたり、マッシュルームレザーの着色に利用するなど、天然色素素材として活用。
※参考HP	https://bioresources.ibrc.or.jp/home
④問合せ先	公益財団法人岩手生物工学研究センター 管理部 研究主幹 富田 典子 電話：0197-68-2911 E-mail：kenkyu-syukan@ibrc.or.jp

【次世代自動車分野】

発表NO10	
項 目	内 容
発表テーマ	着霜現象を低減させる伝熱面表面形状の開発
所属機関	一関工業高等専門学校 未来創造工学科 機械・知能系
職・氏名	准教授 井上 翔
①新技術の概要	低温環境下で走行する EV では空調に大きなエネルギーを必要とする。特に除霜運転時は効率が大きく低下する。そこで冷却面表面に微細な凹凸を設けることで着霜現象を低減させる技術である。
②想定業種	車載空調機、電機メーカー、ヒートポンプの研究開発を行う企業
③想定用途	車載用空調機や低温環境下で運転するヒートポンプの室外機（蒸発器）に着霜現象を低減させる。
※参考 HP	https://research.kosen-k.go.jp/plugin/rmaps/details/11/122/s_inoue
④問合せ先	一関工業高等専門学校 総務課 電 話：0191-24-4872 E-mail：s-kikaku@ichinoseki.ac.jp

発表NO11	
項 目	内 容
発表テーマ	トポロジー最適化及びジェネレーティブデザインを用いた軽量化へのアプローチ
所属機関	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 素形材プロセス技術部
職・氏名	主査専門研究員 黒須 信吾
①新技術の概要	部品等の軽量化設計の新しいアプローチとして、トポロジー最適化やジェネレーティブデザインを用いて検証した。子供用自転車部品フロントフォークを対象に、得られたモデルを金属プリンタで試作し、部品の評価を行い、本法における知見を構築した。
②想定業種	ものづくり分野全般
③想定用途	製品、治具の軽量化
※参考 HP	https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/study/report/2023/PDF/R5-04.pdf https://www.youtube.com/watch?v=sla04klbBik
④問合せ先	地方独立行政法人岩手県工業技術センター 連携推進室 主査専門研究員 阿部 貴志 電話：019-635-1115 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

【DX分野】

発表NO12	
項 目	内 容
発表テーマ	中小スキー場魅力化向けの新型 IC カードリフト券システム
所属機関	岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
職・氏名	教授 蔡 大維
①新技術の概要	既存システムと比較して、導入・運用コストを約 1 割程度に抑える「新型 IC カードリフト券システム」を提供する。 RFID の高速アクセス技術と暗号化技術、低消費電力の組込み技術を活用し、内蔵電池のみで稼働可能である。そのため、現場で電力や通信ネットワークの敷設を不要。
②想定業種	スキー場、エンターテインメント関連事業者
③想定用途	スキー場、イベント、企画展など入場管理
④問合せ先	岩手県立大学研究・地域連携室 地域・産学公連携グループ 電話：019-694-3330 E-mail：chiren@ipu-office.iwate-u.ac.jp

4. 参考資料

(1) 「リエゾン-I 研究開発成果事業化育成資金」贈呈企業一覧（第1回～第22回）

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
第1回 H17. 6. 30 4社 600万円	(株)いわて金型技研	マイクロ成形機の開発と事業化	岩手大学
	(有)イグノス	高度画像処理検査システムの研究開発	岩手大学
	(株)アイカムス・ラボ	マイクロメカニズムの開発	岩手大学
	(株)イーアールアイ	未知コンピュータウイルスを検知・駆除するシステム	岩手大学
第2回 H17. 12. 26 4社 650万円	(株)ラング	石器実測図作成のための形状計測および特徴線図作成の受託事業	岩手大学
	(株)スペック	溶射法による金型補修技術の開発	岩手大学
	(株)宮守砕石工業所	レルゾライトを原料とした農業資材の製品開発	岩手大学
	(有)マクロネットワークス	パソコン遠隔支援システムの研究	岩手大学
第3回 H18. 7. 14 4社 500万円	(株)アイカムス・ラボ	咽頭反射を軽減する内視鏡用マウスピースの開発	岩手大学
	岩手県未来総合研究所八紘総研(株)	岩手県産品を使用したドックフードの開発	岩手大学
	球眼(有)	全天周画像処理ソフトの開発	岩手大学
	(有)いわて動物鍼灸センター	動物専用鍼および関連事業	岩手大学
第4回 H19. 2. 6 5社 750万円	伊藤工作所	乳牛排泄物清掃装置の開発・製造販売	岩手工技
	(株)東光舎	新C o 基合金医療用鋳の試作開発	岩手大学 岩手工技
	ミネックス(株)	転炉スラグ肥料の粒状化	岩手工技
	(株)ナカショク	冷凍生ワカメ商品の開発	岩手水技
	オヤマダエンジニアリング(株)	高含水率木質チップボイラーの拡販および樹皮対応水蒸気ボイラーの開発	岩手工技
第5回 H19. 10. 30 4社 500万円	(株)東亜電化	光学用金型の離型膜処理技術の開発	岩手工技
	(株)岩手情報システム	強紫外線センサの商品化	岩手大学 岩手工技 (有)ライトム
	(株)バンザイ・ファクトリー (旧・(株)サーガ)	唯一形状製品（我杯、カタノブ）の生産技術高度化に関する研究	岩手工技
	(株)アサノ通運	ソフトタンクシステムによる液体食品輸送に関する研究	岩手大学
第6回 H21. 2. 19 7社 1,150万円	(株)南部美人	糖類無添加梅酒の開発	岩手工技
	(株)いおう化学研究所	シリコーンゴムの表面機能の開発～ICタグへの応用～	岩手大学
	(株)いわて金型技研	金属加工品質診断装置の開発	岩手大学
	(株)丸辰カマスイ	三陸沿岸漁獲のイサダ(ツノナシオキアミ)を利用した機能性素材の量産化システムの構築	岩手大学
	岩手鋳機工業(株)	二レジスト鋳鉄の熱処理によるオーステナイト相安定化技術開発	岩手工技

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
(第6回)	(株)エイワ	小ロット・短納期に対応した生体用N i フリーC o -C r -M o 合金等の製造方法の確立と事業化	岩手工技
	(有)月の輪酒造店	新品種「モチ性ヒエ」を用いた醸造酒の開発	岩手大学 岩手工技
第7回 H22.2.24 8社 600万円	(株)エヌワイエス	牛の体外受精システム化による、受精卵の低コスト・量産技術の開発	岩手大学
	東和食品(株)	岩手産昆布の付加価値向上と販路拡大	岩手工技
	(株)宮守砕石工業所	未利用資源カンラン岩粉末レルゾライトの農業における有効活用	岩手大学
	(株)東亜エレクトロニクス	分子接着技術による異種金属間の高強度、耐摺動性結合部品の開発	岩手大学
	(有)ライトム	MR I 拡散テンソル画像法用QCファントムの研究開発及び商品化	岩手工技
	(株)釜石電機製作所	溶射法による廃棄貝殻と酸化チタン複合高性能光触媒の実用化	岩手工技 岩手大学
	(有)アイエス・エンジニアリング	金型位置ずれ検出センサーの開発	岩手工技
	(株)東光舎	超精密作業用ピンセットの開発	岩手大学 岩手工技
第8回 H23.2.21 8社 1,100万円	東日本機電開発(株)	イチゴ閉鎖型高設栽培システムの実用化	岩手農研
	シチズン東北(株)	酸化亜鉛を用いた紫外線発光ダイオード(UV-LED)の実用化	岩手大学 岩手工技
	(株)ベスト	新工法による超小型同軸コネクタの開発	岩手大学
	三研ソイル(株)	土壌に最適な有機質肥料の開発	岩手大学
	(有)鬼沢ファインプロダクト	スパッタ法による加工用超硬合金部品への超硬質膜の形成	岩手大学
	(株)サンアイ精機	永久磁石型超強力マグネットチャックの開発と応用	岩手工技
	品川光学(株)	CCM合金の球面精密切削加工技術の開発	岩手工技
	石村工業(株)	促成イチゴにおける低コスト加温栽培技術の開発とシステムの商品化	岩手農研
第9回 H24.2.23 6社 1,050万円	(有)及春鋳造所	ホーロー処理した南部工芸鉄器の泡欠陥に及ぼす鋳鉄組織の影響	岩手大学
	(有)forte	移動体通信システムの研究開発	岩手大学 青森産技
	(株)ピーアンドエーテクノロジーズ	カオス・ヴァーナム暗号をベースとした、次世代ネットワーク対応暗号化デバイスの開発	岩手大学
	(株)小林精機	メカトロ応用技術活用による自動切削加工ライン構築	岩手工技
	ツインスターテクノロジーズ(株)	リニアガイドベアリング用新型ダストゴムシールの開発	岩手大学
	(有)ベルモデル	型レス用鋳型材の開発	岩手大学 岩手工技

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
第10回 H25. 2. 18 9社 1,200万円	(有)藤原アイスクリーム工場	新型ミツバチ巣礎の開発とその活用によるミツバチ巣箱におけるダニ発生率の減少効果の実証	岩手大学
	(株)川喜	そば粉などに対するワサビひげ根の生菌効果	岩手大学
	久慈琥珀(株)	久慈琥珀粉末の高品位で効率的な新成形技術の開発	岩手大学
	工藤建設(株)	間伐材を活用した木質系、断熱材の開発	岩手大学
	(有)盛岡原田	折板屋根用線材雪止めの最適な構造設計に関する研究	岩手大学
	(株)岩手東京ワイヤー製作所	救命救急時の緊急四肢切断用ググリソ一の開発	岩手医科大学
	(株)浅沼醤油店	岩洞湖のワカサギを原料とする魚醤油の開発	岩手工技
	(有)北三陸天然市場	高品質な魚介乾製品を高効率で製造する方法および製造技術の開発	岩手大学
	(株)ピーアンドエーテクノロジーズ	循環・呼吸の遠隔解析モニタシステムの研究開発	岩手医科大学
第11回 H26. 3. 7 11社 1,300万円	(株)いわて金型技研	プレスと溶接の同時加工による次世代自動車用高度部品製造技術の研究開発	岩手大学
	(有)イグノス	画像センサネットワークによるハイブリッドARセンサーモニターシステムの開発	岩手工技
	(株)アイカムス・ラボ	災害現場における救急救命用スタンドレス輸液装置の開発	岩手医科大学 岩手大学
	三共精密金型(株)	レーザービームによる成型品部品めっき工法（SKW-L2）の実用化技術開発	岩手工技
	(株)いおう化学研究所	勤続材料とフッ素ゴムの流動体及び非流動体加圧・加熱接合に関する研究	岩手大学
	木楽創研(株)	気仙杉を活用した地域資源間伐材等・木質構造ハウスの開発と事業化	一関高専
	オヤマダエンジニアリング(株)	屋外設置型パッケージ木質チップボイラーの開発	岩手工技
	(株)スペック	高速粒子衝突法を利用した有機固相離型・離反膜の実用化開発	岩手工技
	及源铸造(株)	天然物を用いた鉄製厨房用品の防錆技術の開発と海外販路開拓	岩手大学 岩手工技
	(株)水沢軽合金铸造所	SiC粒子強化AI基複合材における低コスト铸造技術の開発と事業化	岩手大学 岩手工技
第12回 H27. 2. 23 6社 900万円	(株)門崎	県産素材を活用した新規畜肉加工品の開発	岩手工技
	(株)ジュークス	燃料電池用白金電極触媒の低白金量産技術の開発	岩手大学
	ラピラス電機(株)	地元産森林材料を活用したアロマオイルの開発	岩手県立大学 岩手大学
	(株)アークネット	トウモロコシの活性炭による汚染土壌改良事業	岩手大学

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
(第 1 2 回)	(株)東光舎	被災地初期医療用キットの開発	岩手工技
	(株)中原光電子研究所	超高速・大容量デジタルコヒーレント 光伝送受信器用小型ファイバレイの 開発	岩手大学
第 1 3 回 H28. 2. 24 1 0 社 1, 250万円	(株)佐幸本店	化粧品原料向けヤマブドウ樹液の販路 開拓	岩手工技
	(有)Q-L i g h t s	有機太陽電池の実用化に向けた「オール 有機透明電極付きプラスチック基 板」の開発	岩手大学
	セルスペクト(株)	救急現場に適用できる双極性障害治療 剤の過量服用識別 P O C T の開発	岩手医科大学
	(株)イーアールアイ	屋内位置測位に最適なビーコン発信機 の開発	岩手県立大学
	(株)花耶	ビューティエキスパートシステムの開 発	岩手大学
	(株)東邦テクノス	レバー式片手駆動車いす駆動装置	岩手大学
	東北資材工業(株)	表面改質を用いた発砲スチロールへの 機能剤固着技術の応用	岩手大学
	(有)三陸とれたて市場	情報を繋ぎ、資源価値を最大化する I C T 漁業プラットフォームの開発	岩手大学
	(株)肉のふがね	岩手県産日本短角種の特性を活かした 熟成牛肉加工品の開発・販売とブラン ド構築	岩手大学
	(株)佐原	岩手県発信の省エネ快適空調換気シス テムの構築	岩手大学
第 1 4 回 H29. 2. 24 7 社 1, 050万円	アイカーボン(株)	リサイクル炭素繊維の表面改質による 高強度炭素繊維強化プラスチックの開 発	岩手工技
	(株)モディー	PIUS Education Version「次世代エン ジニアの為の実践型トレーニングキッ ト」	一関高専
	(有)マルヒ製材	岩手県産アカマツ小径木を活用した幅 ハギ集成耐力床材の開発	岩手大学
	(株)長島製作所	ブレーキアクチュエータの組付け作業 における省力装置の開発	岩手大学
	フィンガルリンク(株)	新磁歪・非励磁型磁歪リング式トルク センサ搭載の医療用トルク計測・制御 装置の商品化	岩手工技
	トラステックアース(株)	脱臭装置の知財活用による自社製品開 発	岩手大学
	(有)多田自然農場	冷凍無添加・低糖質乳製品の開発	岩手工技
第 1 5 回 H30. 2. 27 6 社 850万円	三光化成(株)	表面に微細パターンを有する生化学分 析装置用射出成型品の開発	一関高専
	(株)東亜電化	自動車部品に対応したマグネシウム合 金の黒色表面処理技術の事業化	岩手工技
	(株)栄組	マルチコプター搭載型コンクリート補 修装置の研究開発	岩手大学

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
(第15回)	(同)岩手野生動物研究所	百獣の王が解決するシカ衝突事故～ 「獅子威しMAX」の開発～	岩手大学
	(有)南部萱	ジャイアントミスカンサスの生産及び 販売、将来的な有効利用に向けた研究 開発と地域活性化事業	東北農研
	(有)及春鋳造所	キュポラ用ハイブリッドバイオコークス (HBC)の開発とそれを用いたキュ ポラ溶解高Mn高強度片状黒鉛鋳鉄 (薄肉・軽量化)の開発	岩手大学
第16回 H31.2.27 10社 1,350万円	(株)シオン	木材に防火効果を付加する塗料の開発 ならびにそれを浸漬処理することによる 防火木材の開発	岩手林技
	白石食品工業(株)	もち性小麦「もち姫」を使った全国初の 食パンの量産研究開発	東北農研
	(株)サンアイ精機	永久磁石を用いた加速器用磁気回路の 開発	岩手工技
	(株)エイシング	独自Edge AIを活用したチップとSaaS サービスの展開	岩手大学
	岩手製鉄(株)	ILCクライオモジュール架台精密位置 決め用アクティブムーバーの開発	一関高専
	及源鋳造(株)	デジタルシボ活用による南部工芸鉄器 の意匠設計技術の構築	岩手工技
	(株)フェニックス	車内販売用パワーアシストワゴンの開 発	岩手工技
	小野食品(株)	ナマコを原料とした高機能介護食品の 開発	岩手生工研 岩手医科大学
	大林 璋三(屋号:大林製菓)	無添加による柔らかい餅のカビ防止技 術の開発	一関高専
	かねご製餡(株)	低糖質食品に用いるショ糖代替素材の 開発	岩手大学
第17回 R2.2.26 7社 1,000万円	(株)アイカマス・ラボ	動物実験代替法の拡大に向けた実験動 物を使用しない「有用性・安全性評価」 試験法の開発ならびにマイクロチュー ブポンプの活用	一関高専
	(株)中原光電子研究所	次世代光通信(5G)を先導する光入出 力部品の開発	岩手大学
	(株)アイ・エス・エス	木質ペレット燃料を使った『誰でも、ど こでも、簡単に、美味しいピザ』が焼け るピザ窯の製品化	岩手工技
	(株)昭林	県産樹木を活用した高性能スモークチ ップの開発	岩手工技
	東日本機電開発(株)	吸着材ハスクレイ®を用いた小容量蓄 放熱システムの開発と実用化	岩手大学
	リマテック東北(株)	痴呆症予防のための天然物由来サプリ メントの開発	岩手大学
	(株)津田商店	缶詰製造工程を事例とした定量充填作 業用のランク選別システムの研究開発	岩手大学

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
第18回 R3.2.22 8社 1,150万円	(株)重次郎	飼料用大豆を用いた特色ある牛肉生産	東北農研
	(株)宮古マランツ	緊急告知防災ラジオに連動して動く難視聴地区対応型防災システム・高齢者・障がい者情報サポートに関する開発研究	岩手大学
	アイエスエス(株)	小規模作業所に向けた農産物の自動仕分け搬送システムの開発	岩手工技
	吉川化成(株)	ヘッドアップディスプレイ (HUD) の光源部に使用される高性能フライアイレンズ	岩手大学
	(株)岩手くずまきワイン	「発酵レーズン」の製品化に向けた条件設定及び大量生産に向けた試験製造	岩手工技
	(株)釜石電機製作所	溶射式光触媒を搭載した光触媒式空気清浄システムによる空気環境事業の推進	岩手工技
	(株)アサヒテクノ	空洞化現象 (CVT) 効果を用いた真空乾燥装置の開発	岩手林技
	(株)岩手エッグデリカ	AIセンシングによる非接触・非侵襲な卵の品質自動判定システムに関する研究開発	岩手大学
第19回 R4.2.21 7社 1,000万円	(株)クオントディテクト	個別化がん再発追跡検査および検査試薬の開発	岩手医科大学
	(有)泉澤水産	浮沈生簀を活用した養殖抱卵ギンザケの開発及び量産化	岩手大学
	(有)ベルモデル	南部鉄器の古里から「高強度・高靱性アルミニウム鋳物」を開発	岩手大学
	(有)田鎖農園	地域特産品活用「地マッコリ」の製造販売	岩手工技
	府金製粉(株)	麺製品への食感変化および食パンの最適レシピの開発	岩手工技
	nomos	「冷凍・冷蔵庫用」接触感染防止用ドアオープナーの開発	岩手工技
	(株)國洋	桜こあみパウダーの事業化に向けた取り組み	岩手医科大学 岩手生工研
第20回 R5.2.27 8社 1,000万円	(株)中央コーポレーション	耐食性を付与した環境負荷低減型塗膜除去技術の開発	岩手工技
	(株)バンザイ・ファクトリー	ワカメの未利用資源の調査から商品化、市場の可能性を探る研究開発	岩手工技、岩手大学
	Defios(株)	エッジコンピューティングデバイスによるAIを用いた見守りシステムの開発	岩手医大
	岩手インフォメーション・テクノロジー(株)	自治体と保育施設を結ぶ保育給付請求管理システム「おが〜るウェブレポ」の広域対応開発及び商品化の計画	岩手県立大学
	(株)東北医工	医療機器としての脳卒中リハビリテーションロボットの開発と販売	岩手大学
	(株)小林精機	小規模農家向け裸種子対応播種機の開発	岩手工技
	三陸エンリッチメント研究室	難飼育魚向け精密凍結餌料の開発	岩手大学

回・時期・ 社数・贈呈額	贈呈先	事業計画名	共同研究機関
(第20回)	Green Neighbors Hard Cider(株)	北東北(岩手・青森)産りんご(摘果りんご及び成果りんご)を使用したりんごの醸造酒、ハードサイダー(発泡性果実酒、Green Neighbors Hard Cider)の開発	岩手工技
第21回 R6.2.28 7社 1,050万円	(株)KOEDA	安全・簡易な胆嚢炎ドレナージキット「KOEDA」の開発	岩手大学
	(株)平六醸造	もち発芽玄米の製麹方法および吟醸清酒製造方法をベースとしたクラフトサケ(その他の醸造酒)の開発	岩手工技
	やまに農産(株)	西和賀産高粘度わらび粉の生産技術の完成と販路開拓	岩手工技、岩手県立大学盛岡短期大学部
	磐井AI(株)	認知症予防・早期発見ツール D-walk	一関高専
	(株)長根商店	北リアス産モリユの生産・供給安定化事業	岩手林技、岩手工技
	(株)アイオー精密	高速熱処理プロセス技術開発によるインライン化生産体制の確立	岩手大学
	マーマフーズ(株)	植物性肉様食品のエクストルーダーに用いるノズルの研究	岩手大学
第22回 R7.2.26 6社 800万円	(株)ベアレン醸造所	県産麦芽 100% 「つなぐビール」の大幅拡大に向けた大麦品種の普及及び品質向上	東北農研
	ONSSI(株)	膵臓癌を標的とした新しいがん治療薬(抗体薬物複合体)の開発	岩手医科大学
	(株)九戸村総合公社	新規機能性代用甘味料“甘茶エキス”と“くのへ甘茶のど飴”の開発商品化	岩手生工研
	(有)バイオケム	サケ・ニシン白子抽出物及び酵母由来核酸の免疫活性評価による新規商材の開発	一関高専
	Next IWATE	『地域の未来を築く陸上養殖』持続可能で地域振興を支える閉鎖循環式陸上養殖の事業化	一関高専
	(株)Chaos Edge	ブロイラー活性レベル測定システム	岩手大学
合計額	合計企業数/件数		
20,800万円	129社/152件		

注) 一関高専＝一関工業高等専門学校、東北農研＝農研機構東北農業研究センター、岩手工技＝岩手県工業技術センター、岩手生工研＝岩手生物工学研究センター、岩手農研＝岩手県農業研究センター、岩手林技＝岩手県林業技術センター、岩手水技＝岩手県水産技術センター、青森産技＝青森県産業技術センター

(2) リエゾン-I マッチングフェア開催実績 (第1回～第16回)

回	開催日時	名称	会場	プログラム概要
1	2006 平成18年 11月2日 10時～ 17時	平成18年度異業種 交流・産学連携フ ォーラム東北ブロ ック大会in岩手 ～「リエゾン-I」 マッチングフェア ～	ホテルメトロ ポリタン盛岡 NEW WING	【セミナー<4階>10:30～17:00】 1)講演 渋沢史料館 井上館長 《昼食》 2)産学官連携成果事例報告 4件 (×20分) 3)研究成果説明会 発表7件 (×20分) 【個別面談コーナー<3階>10:00～17:00】 【展示・試食、相談コーナー<4階>11:00～17:00】 【情報交流会17:30～19:30 (11階ギャラクシー)】 ※主催：(独) 中小機構東北支部、全国異業種交流協議会 東北ブロック連合会 ((社) 岩手県工業クラブ・秋田県異 業交流倶楽部・テクノプラザ岩手)、リエゾン-I
2	2007 平成19年 11月2日 10時～ 17時	平成19年度いわて 産学連携フォーラ ム～「リエゾン-I」 マッチングフ ェア～	アイーナ 7階、8階	【研究成果説明会】 13:00～17:00工業系セミナー 11件 (×20分) 13:00～17:00農業系セミナー 11件 (×20分) 【情報交流会17:30～19:30 (マリオス20Fスカイメトロ)】
3	2008 平成20年 11月7日 10時～ 17時	【県内最大級の技 術シーズとニーズ のマッチング・経 営情報交換の場】 いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2008～	アイーナ 7階、8階	【8階13:00～16:30】 1)基調講演 東成エレクトロビーム(株) 上野社長 2)セミナー1 経産省新規産業室 北村室長補佐 3)セミナー2 岩大地連センター 及川幸史 【8階 個別マッチング10:00～17:00】 【パネル展示】研究機関66件、支援機関16件、リエゾン-I 事業化育成資金受賞企業商品・パネル展示10件、計92件 【交流会17:30～19:00マリオス20Fスカイメトロ】
4	2009 平成21年 11月12日 12時30分 ～ 18時30分	【研究シーズと企 業ニーズの出会い】 いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2009～ 第3回北東北地域 イノベーションフ ォーラム	ホテルメトロ ポリタン盛岡 ニューウイン グ4階、11階	【4階13:00～16:00】 1)基調講演 (株)アール 嶋貫部長 2)リエゾン-I奨励金受賞企業によるパネルディスカッショ ン 3)リエゾン-I奨励金受賞企業によるパネル等展示 (12:30 ～) 【11階 北東北地域イノベーションフォーラム (JSTイノベ ーションサテライト岩手主催)】 12:30～16:00北東北研究機関のパネル等展示 (22研究機関、 6支援機関) 16:00～18:30ショートプレゼン 17:15～18:30セッション・アフター5
5	2010 平成22年 11月10日 12時30分 ～ 17時15分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2010～共同 研究の発信基地 「リエゾン-I」～ 企業と研究者の出 会いin岩手大学～	岩手大学工学 部テクノホー ル 盛岡市産学官 連携研究セン ター (コラボMIU)	【テクノホール13:00～14:20】 1)基調講演 秋田県ライウット(株) 林常務取締役 2)リエゾン-I紹介 【コラボMIU13:00～17:00】 13:00～17:00個別相談 12:30～17:15パネル等展示 10研究機関 (28件)、4支援 機関 14:45～15:00リエゾン-I研究開発事業化育成資金受賞企業 プレゼン 15:00～17:00研究機関によるショートプレゼン 【交流会17:30～19:00工学部生協食堂】

回	開催日時	名称	会場	プログラム概要
6	2011 平成23年 11月9日 12時～ 17時15分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2011～ 北東北地域資源フ ォーラムin岩手	岩手県工業技 術センター	<p>【13:00～17:15】</p> <p>1) 基調講演 経済同友会 前原専務理事</p> <p>2) リエゾン-I紹介</p> <p>3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン 3社</p> <p>4) ショートプレゼン</p> <p>【個別相談13:00～17:00】</p> <p>【パネル等展示12:00～17:15】</p> <p>1) リエゾン-I研究開発事業化育成資金受賞企業のパネル 展示</p> <p>2) 北東北研究機関(13機関) 及び支援機関 (3機関) のパネ ル等展示</p> <p>【交流会18:00～19:30マリオス20Fスカイメトロ】</p> <p>【同時開催10時～12時岩手県工業技術センター研究成果発 表会～復興支援に向けて～】</p>
7	2012 平成24年 11月9日 12時30分 ～ 17時15分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2012～共同 研究の発信基地 「リエゾン-I」～ 企業と研究者の出 会いin岩手県立大 学～	岩手県立大学 滝沢キャンパ ス共通講義棟	<p>【講堂13:00～15:00】</p> <p>1) 基調講演 アイシ・コムカズ(株)中原取締役</p> <p>2) リエゾン-I紹介</p> <p>3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン</p> <p>【講堂前エントランスホール12:30～17:15】</p> <p>13:00～17:00個別相談会</p> <p>12:30～17:15研究機関及び支援機関のパネル等展示 (13機 関)</p> <p>15:15～17:00研究機関によるショートプレゼン</p> <p>【地域連携棟10:00～11:30i-MOS見学会】</p> <p>【交流会17:30～19:00学生食堂】</p>
8	2013 平成25年 11月20日 12時30分 ～ 17時30分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2013～企業 と研究者の出会い in岩手医科大学～ &JST復興促進産 学マッチングイベ ントin盛岡～実用 化・事業化を目指 す企業を探してい ます～	岩手医科大学 60周年記念館 9階	<p>【2 番講義室13:00～15:20】</p> <p>1) 基調講演 永島医科機器(株)齋藤取締役</p> <p>2) 講演 岩手医科大学 祖父江副学長</p> <p>3) リエゾン-I紹介</p> <p>4) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (3社)</p> <p>【特設コーナー12:30～19:00】</p> <p>13:00～17:00個別相談会</p> <p>12:30～19:00研究機関及び支援機関のパネル等展示 (15機 関)</p> <p>15:30～17:30研究機関によるショートプレゼン</p> <p>【交流会17:30～19:00ショートプレゼン会場】</p>
9	2014 平成26年 11月17日 13時30分 ～17時	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2014～	盛岡市産学官 連携研究セン ター (コラボMIU)	<p>【13:30～15:25】</p> <p>1) 基調講演 (一財) AREC 岡田専務理事</p> <p>2) リエゾン-I紹介</p> <p>3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (2 社)</p> <p>4) パネル等展示及びシーズ説明 (ショートプレゼン)</p> <p>【12:30～17:00】</p> <p>12:30～17:00研究機関及び支援機関のパネル等展示 (13機 関)</p> <p>15:30～17:00研究機関によるショートプレゼン</p> <p>【個別相談会13:30～17:00地連棟ゼミ室】</p> <p>【交流会17:30～19:00学生食堂】</p>

回	開催日時	名称	会場	プログラム概要
10	2015 平成27年 11月4日 12時30分～ 17時20分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2015～ &JST復興促進セ ンター盛岡事務所 成果報告会「復興 から新しい東北の 創生へ-科学技術 の英知・絆の成果 -in盛岡	岩手大学 復興祈念銀河 ホール	【プレゼンテーション<ホール>13:00～17:20】 1) リエゾン-I紹介 2) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (2社) 3) JST復興促進センター取り組み紹介 4) JST復興促進センター成果発表 (12課題) 【パネル展示<2階>12:30～17:00】 12:30～17:00研究機関研究シーズ (10機関) 及びJST復興促進プログラム成果 (36課題) のパネル展示 13:00～17:00個別相談 【交流会17:30～19:00工学部生協食堂】
11	2017 平成29年 11月15日 12時30分～ 17時15分	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2017～	岩手大学 復興祈念銀河 ホール	【プレゼンテーション<ホール>13:00～15:00】 1) 基調講演 (株)フォルテ 葛西社長 2) リエゾン-I紹介 3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (2社) 【パネル展示<2階>13:30～17:15】 12:30～17:15研究機関研究シーズ及び研究開発事業化育成資金贈呈企業のパネル等展示 13:00～17:00個別相談 15:15～17:00研究機関によるショートプレゼン 【交流会17:30～19:00コラボMIU】
12	2018 平成30年 11月7日 12時30分～ 17時	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2018～	岩手大学 復興祈念銀河 ホール	【プレゼンテーション<ホール>13:00～15:00】 1) 基調講演 (株)IMUZAK 澤村社長 2) リエゾン-I紹介 3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (2社) 【パネル展示<2階>12:30～17:00】 12:30～17:00研究機関及び支援機関のパネル等展示 13:00～17:00個別相談 15:15～17:00パネル展示シーズ説明会 (ショートプレゼン) 【交流会17:30～19:00コラボMIU】
13	2019 令和元年 11月6日 12時30分～ 17時	いわて産学官連携 フォーラム～リエ ゾン-Iマッチング フェア2019～	岩手大学 復興祈念銀河 ホール	【プレゼンテーション<ホール>13:00～15:00】 1) 基調講演 (株)浜野製作所 浜野社長 2) リエゾン-I紹介 3) リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈企業プレゼン (2社) 【パネル展示<2階>12:30～17:00】 12:30～17:00研究機関及び支援機関のパネル等展示 13:00～17:00個別相談 15:15～17:00パネル展示シーズ説明会 (ショートプレゼン) 【交流会17:30～19:00コラボMIU】
14	2020 令和2年 11月5日 13時～ 17時10分	令和2年度リエ ゾン-Iマッチング フェア～新技術説 明会～ ※会場とオンライ ンのハイブリット 開催	盛岡市産学官 連携研究セン ター (コラボMIU)	1) 挨拶 2) リエゾン-I紹介 3) 研究シーズの発表13:30～17:00 15分×13件発表 ※それぞれの発表終了後「名刺交換・質問コーナー」で対応

回	開催日時	名称	会場	プログラム概要
15	2021 令和3年 12月1日 10時～ 17時20分	令和3年度リエゾン-Iマッチングフェア～新技術説明会～ ※会場とオンラインのハイブリット開催	盛岡市産学官連携研究センター (コラボMIU)	1)挨拶 2)リエゾン-I紹介 3)研究シーズの発表10:15～17:15 15分×18件発表 ※それぞれの発表終了後「名刺交換・質問コーナー」で対応
16	2022 令和4年 11月14日 10時～ 17時20分	令和4年度リエゾン-Iマッチングフェア～新技術説明会～ ※会場とオンラインのハイブリット開催	盛岡市産学官連携研究センター (コラボMIU)	1)挨拶 2)リエゾン-I紹介 3)研究シーズの発表10:15～17:15 15分×18件発表 ※それぞれの発表終了後「名刺交換・質問コーナー」で対応